

第1回企画等専門調査会(平成23年11月21日)資料  
 「<平成23年度>食品安全委員会が自ら行う食品健康影響評価の案件候補について(案)」抜粋

評価課題／危害要因	危害要因に関する概要等	国内外における評価状況、管理状況等
リチウム	・独立行政法人国立健康・栄養研究所:ホームページ「健康食品」の安全性・有効性情報 日本においては炭酸リチウムが抗躁薬として使用されているが、有効血中濃度と中毒濃度の差が小さいため、定期的に血中濃度を測定する必要があり、注意が必要。副作用は胃腸症状(食欲不振・悪心・嘔吐)、振戦、傾眠、発熱、発汗などが知られており、てんかん、重篤な心疾患、腎障害、妊婦または妊娠の可能性がある場合は禁忌。	<国内> ・食品安全委員会による評価状況:なし。 <海外> ・EFSAが飼料及び動物用栄養目的の微量及び超微量成分に関する科学的報告書を2010年7月に公表しており、その中で使用者/作業者に対する毒性リスクで、塵芥及び蒸気の吸入による暴露限度を25 $\mu$ g/m <sup>3</sup> 水素化リチウムをTLV(8時間労働で、週40時間の稼働で、繰り返し暴露によっても悪影響が生じない濃度)と推奨している。